



International School Japanese Section Of Riyadh

ラカム

リヤド日本人学校

学校だより 夏休み直前号

2026年(令和8年) 7月30日

1学期が終了しました

校長 栗村 洋子

対面授業が再開して約1ヶ月。アンタラコンパウンドでの学校生活にも少しずつ慣れてきました。キングダムの広い敷地で過ごしていた日々を経験している子どもたちにとっては、その違いに戸惑っているようでしたが、夏休みを目前に落ち着いた生活を送ることができるようになりました。

日曜日、火曜日、木曜日と週3回、朝の活動から1時間目にかけて水泳の授業をしています。アンタラコンパウンドのプールに修繕工事が入り、水泳ができる場所が一カ所になってしまいました。子どもたちの水泳の時間が、朝に泳ぎたいという住人の方と鉢合わせ、プールの使い方について考える機会がありました。「自分たちだけのプールじゃない。お互い譲り合って気持ちよく泳ぐこと。」「日本人として、その良さを生かした立ち居振る舞いをしよう。」という話をしました。子どもたちは、履いていたサンダルをきちんと並べ、持ってきたバスタオルをたたみ直し、自分の課題に向かって黙々と泳いでいました。住人の方が泳いでいるコースを尊重しながら。学校にプールがあれば、様々な面で自由に泳ぐことができます。ここでは、プールでさえも公共施設として周りに配慮しながら使うということをリアルな場面で学習します。日本人として、きちんと丁寧に日々の生活を送ることを大切にしなければと改めて感じました。その1週間後、オランダの方が、サンダルをきちんとそろえている様子を見て、子どもたちの事を褒めてくださいました。見ている人、分かってくださる人はいるのですね。

少し短い夏休みに入ります。この1学期、様々なことがあり、大きな変化が子どもたちだけでなく私たち教員にもありました。変化は成長のタイミング。様々な困難ことも自分の力に変えて次に向かっていきましょう。そのためのエネルギーを夏休みにしっかりとためて、また2学期、元気に会えることを楽しみにしています。

NEC サウジアラビア 笹野さんのお話を聞こう！

NEC サウジアラビアに勤務されている笹野さん。昨年度は、学校運営理事会の事務局として、大変お世話になりました。ちょうど、校舎移転もあり、次の場所の選定に、本校の職員とともにたくさんの物件を見て回ってくださいました。リヤド日本人学校がここアンタラコンパウンドにあるのも、その時にお力を尽くしてくださった笹野さんやみなさんのおかげです。

笹野さんは、9月からイギリスのオックスフォード大学に入学します。7月7日、お話を聞く会をしました。とても貴重な時間になりました。二つの大切な話を話されました。

一つ目は「モチベーション」のお話です。「やってみたい気持ち」をもち続けること、そして、その前向きな気持ちを大切にしてほしいと。笹野さんご自身の、オックスフォード大学に行くモチベーションは、「やりたい仕事に必要な知識を身につけるために大学へ行こう」と思ったことです。子

どもの頃は、ハンドボールが大好きで、勉強は嫌いだったけれど、どうしても大好きなハンドボールを続けたくて、当時の自分の実力では難しいと言われた高校に入るため、猛勉強をして合格を勝ち取ったそうです。「好きなものやがんばりたいことがあれば、どんな壁も乗り越えられる」とその時、確信しました。その経験が、オックスフォード大学へ笹野さんを導いたのですね。

そして、二つ目は「夢をもつ」ということです。子どもの頃、自分の夢は身近な大人の姿から生まれていました。その世界が広がると、どんどん夢も変わっていきました。「夢は知っている事からしか生まれない」のです。だからこそ、知っていることの数を増やすことが大切です。「今、こうしてリヤドにすることを大切に、リヤドでしかできないことに積極的にチャレンジすること」、そのためにも、「いろんな人と関わること」、「夢は変わってもいいということ」「なりたい姿をイメージしてそれを実現すること」を大切にしてほしいと話されました。

お話を聞いた後、子どもたちからは、日々の勉強のこと、入試のことについて質問が出ました。笹野さんの答えは「毎日3時間、週末は12時間の勉強を3年間続けた。まずは量をこなすことを意識した。」「日本の入試は点数で合格ラインを越えること。海外の大学の中には、学力に加え、スポーツや課外活動など、これまで何に情熱を注ぎ、どのような経験を重ねてきたかを総合的に評価するところもあります。」「日本と海外では評価の基準が違う。」と答えられました。大学入学の評価については考えさせられました。「好きを育み、得意を伸ばす」は次回の学習指導要領改訂のキーワードです。まさに笹野さんの生き方です。

「夢は知っているところからしか生まれない」から、人は新しい場所へと旅立とうとするのだと思いました。もっと、もっとたくさんの夢を生み出すためなのですね。この3月、私は役職定年で徳島県の校長という仕事を終えました。退職の機会に、子どもたちに「いくつになっても人は夢をもって、それを叶えることができる」ということを伝えたくて、かねてよりの自分の夢「海外で子どもたちのために働く」という道を選びました。今は夢の先を生きる日々です。その中で出会った笹野さんです。夢の先には、新しい世界が待っていて、新しい出会いの中で新しい夢を描くことができる。笹野さんとの出会いは、まさに夢の先の夢のようなできごとでした。大きな気づきと学びでした。本当にありがとうございました。



新しい友だちが来てくれました！

初めて名前を見た時から、その由来を聞きたいなと思っていました。新しいお友だちの名前は、奄美大島の集落到ちなんであつけれられたそうです。そこで生まれ、それが名前の由来です。今でも、奄美大島にお父さんとシーカヤックをするために訪れるそうです。北海道の紋別にも住んでいたことがあり、日本全国、北から南まで知っていて、とうとうリヤドまで来てくれたのですね！これからの日々がとても楽しみです。

	8月	
18	火	2学期始業式 午前授業 職員会議
19	水	発育測定 サウサン先生
20	木	委員会
21	金	
22	土	
23	日	水泳学習
24	月	中学部実力テスト
25	火	水泳学習
26	水	全校朝会 サウサン先生
27	木	クラブ
28	金	
29	土	
30	日	水泳学習
31	月	職員研修